

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	資源循環小委員会	主 査 名：吉田倬郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築の資源循環に関する諸問題を明らかにし、今後の建築のあり方を示すことを基本的な目的とし、事例調査、研究会などを行い、成果を刊行物としてとりまとめる	
委員構成 (委員名(所属))	吉田倬郎(工学院大学) 中島史郎(建築研究所) 有馬孝禮(宮崎県木材センター) 菊池雅史(明治大学) 酒井寛二(中央大学) 下田吉之(大阪大学) 清家剛(東京大学) 外崎真理雄(森林総合研究所) 竹尾健一(大成建設) 広松猛(広島国際大学) 山畑博信(東北芸術工科大学) 野城智也(東京大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	資源循環モデル WG (漆崎昇(大林組) 小林均(エックス都市研究所) 恒次祐子(森林総合研究所) 富田慕子(工学院大学大学院))：資源循環モデルの作成	
2004 年度予算	85000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	(4月23日・12名) (6月10日・15名) (9月22日・11名) (11月12日・10名) (12月22日・13名) (2月2日・11名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2004年度は、建築の資源循環に関する研究会を継続的に行った。特に、資源循環に関する建築の特徴を検討する新たな観点として、家電と自動車の資源循環特性と比較することをテーマとする研究会を行った。また、建築の資源循環に関する最新の研究開発事例を題材にした研究会を行った。具体的には、廃木材のリサイクル技術として、エタノール作成が実用のめどが立ったことに関する研究会、資源循環を推進した住宅リフォーム構法の開発事例に関する研究会を行った。また、地球環境委員会のパネル展示に協力し、小委員会のパネル作成に関する作業を行った。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 2004年度は、自動車リサイクルと家電リサイクルの検討を通して、建築の資源循環の特徴を捉えようとしたが、今後に向けてさらにこれを推進したい。また、建築における資源循環問題に取り組んだ、具体的な事例について研究会を持ったが、これについても継続的に進めていきたい。刊行物にまとめるためには、なお、今後の研究の推進が必要である。
その他評価すべき事項	